

(別紙4(2))

事業所名:グループホーム笑顔の泉

目標達成計画

作成日 : 令和2年 11月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	コロナの影響でこれまでコミュニケーションの軸であった面会の形態が変わり、機能が薄くなっている。	感染症対策を徹底しつつもご家族と利用者様、ご家族とホームの繋がりを継続させる必要がある。	毎月の書面送付時等に現在のホームの活動内容、状況、これからの展望、利用者様の写真を添付し情報の発信を行う。	1ヶ月
2	35	非常食の量や種類が適切なのか把握しきれていない。使用したことが無い。	非常食の調理、試食、非常用トイレの使用法など災害時シミュレーションを行う。	災害時備品の量や種類をチェックし一覧表にして把握する。災害時シミュレーションの計画を立てる。	6ヶ月
3	49	散歩や買い物、外食、喫茶店、ご家族と外出などこれまで出来ていたことが出来なくなった。	利用者様に施設にいても季節感や解放感を味わってもらいたい、コロナの時期だけど笑顔の泉で良かったと思ってもらいたい。 withコロナ施策として感染症対策をしつ	散歩の再開、外食の代替としてテイクアウト、屋外レクとして事業所前でのBBQなど感染のリスクを排除し出来ることを企画する。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。